

<避難所運営委員会のご紹介>

◆轟町中学校・轟町小学校・市立第二養護学校避難所運営委員会の取り組みをご紹介します。



令和6年3月10日（日）午前9時30分から、轟町公民館にて「防災講座」が開催され、地元自治会、轟町地区に隣接する周辺自治会治会の方々など、約50名近い方が参加されました。

冒頭に、1月に発生した能登半島地震や近頃地震活動が活発な千葉県東方沖地震を踏まえ、今回の「防災講座」の狙いや目的などを、避難所運営委員会の永井委員長よりご説明がありました。



まず、市役所防災対策課課長補佐の須崎より、「我が家の防災対策について」の講座を行い、「自助」の重要性や大切さ、最近の気象傾向や地震予測など、轟町地区の周辺のハザードマップなどを用いて具体的に解説し、いざという時に何をすべきか、各自で必要な心構えや備えなどをご説明しました。



次に、稲毛区役所地域づくり支援課職員から、能登半島地震の被災地派遣で珠洲市を訪れた際の現地の報告をさせていただきました。

能登半島地震で大きな被害を受けた珠洲市では、ほぼ全域で断水し、下水も使用できない状況でした。携帯トイレ、保存水、使い捨てのボディタオルの備蓄の重要性、また、避難所の現状や自衛隊による炊き出しやお風呂の話など、実体験に基づいて報告をさせていただきました。

会場を広く利用し、永井委員長・役員の方々より、「携帯トイレ」の使用方法や説明を実施。



いざという時の備えとして、様々な種類の備蓄品が展示されていました。



最後に、参加者全員で「災害時のお困りごと」をテーマにディスカッションを行いました。



参加者からは、「地域や近所の日頃のつながりが災害時にも有効」などのお話や、活発なご意見やご質問があり、充実したディスカッションとなりました。